

会派代表質問

創 政

第6次総合計画について

山下 豊昭 議員



会派創政の山下豊昭でございます。初の代表質問宜しくお願いします。

問 最初に総合計画①序論について今後10年に及ぶ総合計画スタート直前のお気持ちと計画にかける熱意を冒頭であります。金坂市長に序論としてお言葉を頂ければと思いがすが、宜しくお願い致します。

答 平成23年にスタートした第5次総合計画も終り新規第6次総合計画がスタートしますが、急速に変化する社会経済情勢を見据え計画的な市政運営を図り職員全員一丸となり本市の「未来に向けてみんなであつくりたい・住み続けたいまち」に向け、市民の皆様、事業者の方、市議会の皆様、行政一体となりオール大網白里で各施策事業を推進し将来元気で魅力あるまち作りに努めて参ります。

問 金坂市長有難うございます。これから始める第6次総合計画に対する決意として、受け止めて参ります。次に①総合計画の構成と期間、②令和3年度実施計画について伺いたいと思ひます。特に②実施計画については先の基本構想特別委員会に於いても内容説明等、若干不明瞭な部分もあり、そこで令和3年度にてメイン事業となる実施計画についてポイントを絞り2点お示し下さい。

答 総合計画は基本構想、基本計画、実施計画によって構成され基本構想は目指す将来像を示し、基本計画は構想実現に向け分野別の施策、目標を明確にするものであり前期、後期をそれぞれ5年間に定め社会経済情勢に柔軟対応し前期は令和7年度迄と致します。実施計画は施策の具体化を図り予算編成、事業実施の指針計画であります。次に令和3年度のメイン事業として厳しい財政下にお

いて財政健全化に歳入歳出の徹底見直しに取り組み財政基盤の強化を図りふるさと応援寄附金事業促進、市税等の徴収強化を図り、自主財源確保に努め、経費の徹底見直しを進め職員一丸となり推進して参ります。

問 有難うございます、只今のお言葉、しっかりと対応の程お願い致します。次に今お答えの実施計画は実際どの様な方式で進められるのかお示し下さい。

答 方式については法改正、制度変更、市政財政状況に鑑みて計画、実施評価、改善を基本とするPDCA循環方式にて事業実施の最適化を図って参ります。

問 解りました。今ご説明の実施計画を更に確実に推進して頂きたく、次の5W2H方式をセットにてお考え頂きたく申し上げます。「フー誰が行う、ホエーンいつ行う、ホワット何を行う、ホワイ何故行う、2Hハウどの様に行う、ハウマツチ幾らの予算」、お答えのPDCA方式と5W2H方式を合わせて取り組む事で実施計画の効率が格別に向上すると考え、一つのご提案とさせて頂き次の質問へ移りたいと思ひます。2番の社会的潮流と動向の①行政の役割りと変化について行政自治体の有り方、地域振興の方向性、役割りと変化についてどの様に展開を行うのか総論的にお示し下さい。

答 長期的な人口減少、少子高齢化の需要の増大、医療費を含む社会保障の経費増等、財政運営の環境は厳しいですが今後の行政運営は地域経営の視点を持ち市民、民間と協働を進め市全体をマネジメントする事が最重要と認識し、市民への対応含

め持続可能なまち作りを進めます。私も同感です。難しい取組みと申しますが市全体をマネジメントし市民の期待に対応すべく「クイック早く、チャレンジ挑戦、レスポンス早く、チェック検証、チェンジ変革を認識して頂き幹部の皆様には、ODA、ウーダと申します。オブザイブ業務視察、オリエント、情勢判断、デシード意志決定、アクション責任行動」を率先して頂き職員の皆様をリードして頂きたく要望致します。3災害対策の安心安全意識の高まり4コロナ対策について市として今必要な対策をお示し下さい。

答 安全対策では地域防災力の充実に向上を図って参ります。コロナ感染予防の基本、マスク着用、手洗励行3密の回避、不要不急の外出自粛の協力又広報活動徹底に努めます。

ありがとうございました。災害対策、コロナ対策も宜しくお願い致します。最後に行政の役割りと変化の先にあるのは本市市民の皆様が安心安全な暮らしです。明確に認識を持ち本年度始まる第6次総合計画の実行と財政確保に専心頂き期待と成果を熱望して私の代表質問を参ります。

問 私同感です。難しい取組みと申しますが市全体をマネジメントし市民の期待に対応すべく「クイック早く、チャレンジ挑戦、レスポンス早く、チェック検証、チェンジ変革を認識して頂き幹部の皆様には、ODA、ウーダと申します。オブザイブ業務視察、オリエント、情勢判断、デシード意志決定、アクション責任行動」を率先して頂き職員の皆様をリードして頂きたく要望致します。3災害対策の安心安全意識の高まり4コロナ対策について市として今必要な対策をお示し下さい。

答 安全対策では地域防災力の充実に向上を図って参ります。コロナ感染予防の基本、マスク着用、手洗励行3密の回避、不要不急の外出自粛の協力又広報活動徹底に努めます。

ありがとうございました。災害対策、コロナ対策も宜しくお願い致します。最後に行政の役割りと変化の先にあるのは本市市民の皆様が安心安全な暮らしです。明確に認識を持ち本年度始まる第6次総合計画の実行と財政確保に専心頂き期待と成果を熱望して私の代表質問を参ります。

問 コロナ禍の中、商工業者の状況。現状の把握は。

答 影響の目安として1施設15万円の支援金を交付している事業者の申請状況は1月末で合計664件です。

問 市内事業者の数から、ほぼ全て事業者が補助、助成を受けているという形になる、大変な状況。

答 他市ではデリバリーや持ち帰りができる地域のお店をインターネット上の地図で検索できるサービスを開始した所もある。地域経済団体等との

協力で、この様な地元のお店を利用して貰うための方策はとれないか。

問 昨年の緊急事態宣言発令時に市内の飲食店応援として、さわやかサービスと市商工会により「大網白里エール飯」と称してデリバリーやテイクアウトが可能な飲食店の情報を商工会や市のホームページ、新聞折り込みで周知しました。ご提案を含め、商工会と連携し、どのような支援が可能か検討して参ります。

問 2月から医療従事者の接種が始まった。ワクチンに対する不安も聞かれます。厚生労働省の資料を読みましたが接種事業の流れは「国の指示の下、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施する」という形。市の判断だけで動ける状況ではないので難しさもあるが、今後の接種スケジュールについて伺う。

答 最初に65歳以上の高齢者を対象に接種券等を個別発送し、接種時期は4月以降となる見込みです。その他の方々のスケジュールについては現時点では流動的ですが、国や県の指示の下、関係機関等と連携を密にし、円滑なワクチン接種に向け取り組んで参ります。

問 続いて接種の方法。広い会場の集団接種と、身近な「かかりつけ医」を使った接種の2つの形が考えられる。現在市が考える接種の方法は。

答 多くの市民の皆様が早く接種を受けて頂くため、現時点では集団接種を想定しますが、かかりつけ医での接種の実施も含め、現在、山武郡市医師会をはじめ、関係者と調整協議を行ってまいります。

問 今後の接種についての発信は。

答 対象者への個別通知の他、ホームページや広報紙などを活用して、丁寧な情報提供に努めます。

※その他、◎福祉行政・改正社会福祉法について、問い質しました。

個人質問

市民に対する行政の対応

宮間 文夫 議員



問 私達はワクチン接種が本市において、どのような形で行われるのか分からないので不安を感じています。分かりやすくご回答下さい。

答 ワクチン接種の時期につきましては、ワクチン接種に関する国の準備が整い次第、医療関係者、次に高齢者、その次に16歳以上の方に順次進めていくことになっております。

問 接種場所につきましては、人と人の距離の確保など、感染防止対策を取りながら一度に多くの方々に接種を受けていただくために広い会場が必要となりますので、現時点では保健文化センターなど多くの人員が収容でき、駐車場、衛生面の確保が図られる会場での集団接種を想定しております。また、お近くのかかりつけ医での接種を希望される方もいると思われ、個別接種につきましては、個別接種にきましては実施に向けて山武郡市医師会等の関係者と協議をします。

問 期日前投票所を大型商業施設に増設してはいかがでしょうか。

答 有権者の皆様がお買物ついでに投票できるなどの利点があり、有権者の利便性への取組の一つといたしまして有効であると認識しております。

問 企業版ふるさと納税について

答 この企業版ふるさと納税を自治体が行うためには、寄附金を充てる実施事業などを明記した地域再生計画を策定し、内閣府から認定を受けることが必要となります。本市におきましては、第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき地域再生計画を策定し、本年1月に内閣府へ認定申請を行った

ところであり、順調に手続が進めば年度内に認定を受けられるものと同様に参ります。そして、本市の企業版ふるさと納税の対象としております移住・定住促進事業や子育て支援事業などの推進に当たりましては、企業からの寄附を通じて企業力を取り込むことにより、人口減少の緩和と地域経済の活性化により本市を元気にする事業の財源として有効活用できるような努めてまいります。

問 今日、新聞を読んでいます。全国40議長に別姓反対文書、自民閣僚経験者も連名、という記事がありました。我々もよく各常任委員会いろいろな陳情を審査する場合がございます。その時にもう国のほうからこれは県議会なんですけれども、それを通してはならんぞ、という文書が議長宛てにきたら、これは議長はむげには出来ないと思ひます。だから、今、報道でいろいろ取り沙汰されていることを議会でもやるのはいかかと思ひますが、根本にそういう一つの陳情をしっかりと常任委員会で一人ひとりしっかりと、議論して、それで採決にあたるという事が議員の本来の姿だと思ひます。あまりそういう力関係で正しいか間違っているかを判断するのはなく、自身の判断が大切だと思ひます。